

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮崎県美郷町 西郷病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	ト透訓	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,790	2,783	第1種該当	10:1	

※1 ト…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

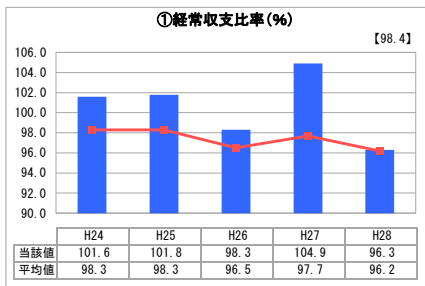
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
29	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	29
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
29	-	29

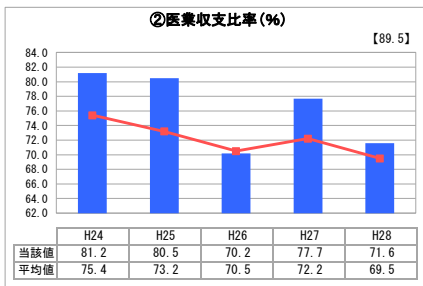
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

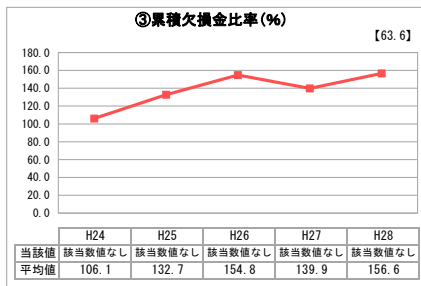
1. 経営の健全性・効率性



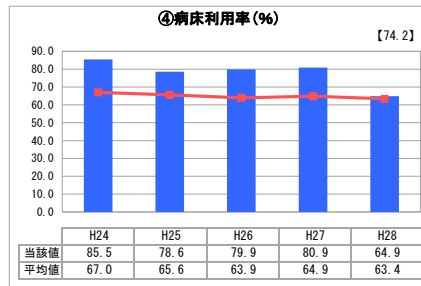
「経常損益」



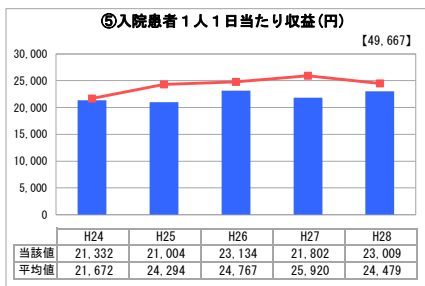
「医業損益」



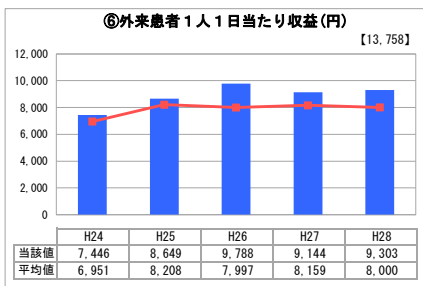
「累積欠損」



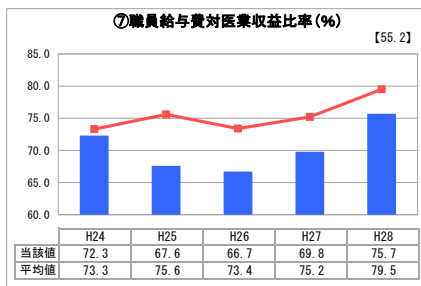
「施設の効率性」



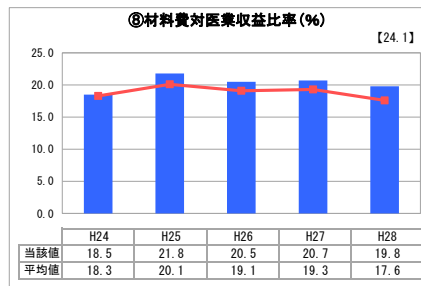
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」



「費用の効率性①」



「費用の効率性②」

I 地域において担っている役割

民間医療機関のない当該不採算地域における唯一の病院として地域医療を提供している。また、救急告示病院として、救急医療の充実を図ると共に、入院治療、手術、検査など広く行われている標準的な医療を安定的に提供している。
宮崎県からは「へき地医療拠点病院」の指定を受け、医療人材の育成、巡回診療や代診医の派遣、人工透析サービスなどの広域的で重要な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率ともに類似病院平均を上回っており、累積欠損金も発生していないが、一般会計からの繰入金比率が高く、また繰入金の減少に伴い収支比率も減少傾向にある。

病床利用率は、ほぼ類似病院平均と同程度だが、人口減少に伴い減少傾向にある。入院、外来と収益単価を増加するため、医療体制の見直しや施設基準の変更、診療報酬加算の検討等を図る。

職員給与費率は類似病院平均を下回っているが、職員の高齢化が進んでいるため、今後も適正な人員の維持に努めつつ業務委託等の活用も検討する。

材料費率は平均を上回っており、今後も一層のコスト削減に努める。

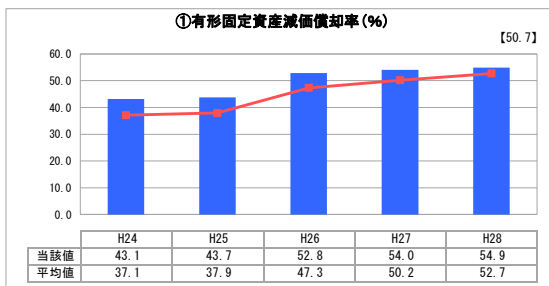
2. 老朽化の状況について

平成13年度に病院施設の改築を行なった際に全面的に更新した医療機器等設備が、近年一斉に更新時期を迎えている。老朽化の状況は類似病院平均と同程度か下回っているが、更新が集中しないよう緊急性、必要性等を考慮し、計画的な更新を図る。

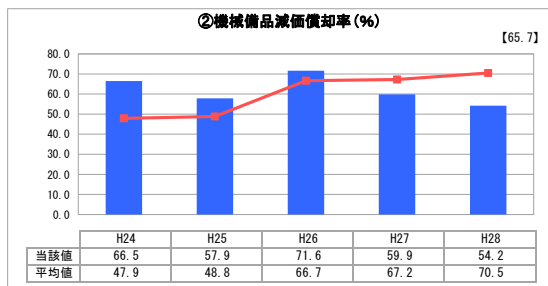
全体総括

現時点で収益性、安全性においてはある程度確保されているが、不採算地域にある当院では、その収益においても一般会計からの繰入金の割合が高い。町財政も厳しい中、今後益々厳しい運営が見込まれ、公立病院改革プランに則り経営改善を図る必要がある。

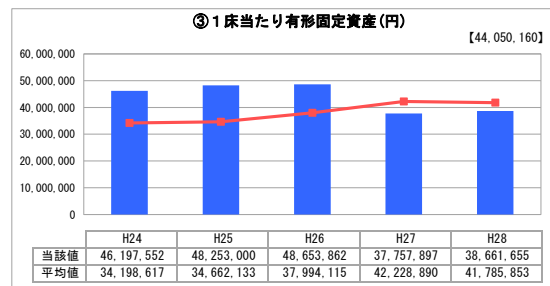
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。